

## 原水爆禁止2019年世界大会への支持・賛同メッセージ

2019年7月 順不同

鈴木 瑞穂（俳優、東京）

広島あのキノコ雲を見た者として、核兵器は絶対許せません！

安富 巖（弁護士、大阪）

核兵器のない平和で公正な世界をめざし、共同の輪をさらに広め強めよう。

原 和人（反核医師の会共同代表、石川）

核のない世界にむけて核兵器国と非核兵器国のせめぎ合いが激しくなっています。なんとしても核兵器禁止条約を成立させ、核兵器は悪であるという烙印を押さなければなりません。2019年の原水爆禁止世界大会を成功させ、その力で2020年のNPT再検討会議を成功させましょう。

重富 健一（東洋大学名誉教授、東京）

亥年8度目・96歳という高齢に加えて、持病で外出もままならぬ昨今。19年世界大会と関連諸行事の大きな成功と盛会を祈念します。

大久保 賢一（日本反核法律家協会事務局長、埼玉）

- ・核兵器禁止条約の一日も早い発効をめざしましょう。
- ・日本国憲法9条を世界に広げましょう。

西山 進（漫画家、被爆者、福岡）

原水爆禁止2019年世界大会を支持します。

峰岸 純夫（東京都立大学名誉教授、東京）

科学の進歩は人類に幸福をもたらすとは限らない。原水爆はその代表的な例である。私の生きていく21世紀のうちに、原水爆の世界的・全面的な禁止を実現して欲しいと切に願う次第である。

有馬 理恵（舞台女優、東京）

反核・平和の願いを世界のすみずみまで

早川 静泰（名古屋市職労退職者会長、愛知）

1日も早く核兵器禁止条約が発効することを願います。トランプ政権の核兵器政策に反対しない日本政府にはあきれます。NHKなど日本のマスコミが被爆国の立場で政府批判を全くしないのにもあきれます。被爆国としての責任をはたす世界大会の成功を祈念します。

中村 照美（弁護士、沖縄）

日本政府は、被爆者の生命（いのち）ある今、核兵器廃絶署名を！

西川 忠之（クリニック院長、石川）

核保有、核実験（臨界前も含む）すべて将来への不安材料でしかない。

浦野 広明（立正大学法学部客員教授・税理士、東京）

運動の発展を願っています。

神谷 慎一（弁護士、岐阜）

核兵器の無い世界を強く希望しています。核の被害を受けた全ての方に十分な補償がなされることも願っています。

森本 光英（洋画家、大阪）

世界大会成功を願います。

三玉 宜晃（僧侶、三重）

力あれば我も歩かん 生の尽きざるうちに核をなくせと（平和行進に）

大浦 ふみ子（作家、長崎）

人類、そしてあらゆる生きものは核兵器と共存できない。

成瀬 聡（弁護士、東京）

核戦争阻止・核兵器の廃絶をめざし、大会の成功を願っています。

野々村 邦夫（医師、長野）

粘り強く、あきらめず、楽しく運動していきましょう。

畑田 重夫（日本平和委員会顧問、静岡）

私は数少ないいわだつみ世代の生き残りの一人ですので、被爆者の方々のお気持ちが痛いほどよく理解できます。生きているうちに、核兵器も原発もない平和で暮らしやすい世の中をとという切実な願いをいただきながら皆さんとご一緒に年齢相応の反核平和運動にとりくんでいます。2019年世界大会の大成功を！！

宮崎 礼子（日本女子大学名誉教授、東京）

アピールを支持、賛同します。

永尾 廣久（弁護士、福岡）

世界のあちこちにキナ臭い動きがあります。アメリカのトランプ大統領がその一人です。そんな動きにめげず、核兵器なくせの声を世界中にひびかせましょう。

峯廻 攻守（湊仁会札幌西円山病院名誉院長、北海道）

原水爆禁止2019年世界大会の成功が、核兵器禁止条約の発効を前へ前へと進める力となる事を信じて、一人一人が出来ることに取り組みましょう。

毛利 正道（すわか文化村村長、弁護士、長野）

宮良 瑛子（画家、沖縄平和美術展会長、日本美術会員、沖縄）

この美しい地球に、宇宙に、永久の平和を！ - 命どう宝 - 全国の皆さん、沖縄の高江、辺野古の軍事基地建設をストップさせて下さい！ 宮古、石垣、与那国の軍事基地も要りません！

木村 宏嗣（曹洞宗寺院住職、山形）

国民平和行進、原水爆禁止世界大会の鶴岡田川実行委員会のメンバーを中心に、毎年30名くらいで当寺院に立ち寄って参拝、打鐘しています。今年は6月17日との連絡が入っています。

長谷川 敬（詩人・作家、埼玉）

ヒトであるならば原水爆禁止を支持するのは当然のことです。ヒトの心を失ったものたちには何と云っても虚しいばかりです。

石井 潔（静岡大学教授、静岡）

大会のご成功を祈念します。

橋本 敦（弁護士、大阪）

「命あるうちに核兵器のない世界を」。この被爆者の願いを全国民の熱い正義の声として日本中に、そして世界にひろめましょう。

畑 明郎（元大阪市立大学大学院教授、滋賀）

原水爆禁止と原発ゼロを勝ち取りましょう！

金子 康子（弁護士、新潟）

毎年、暑い中、御苦勞様です。

横川 功（演劇製作者、東京）

粘り強く声を発し続ければ必ず歴史はかわります。まずは原発です。核兵器を信じる人たちは想像力が欠如、芝居を観せなければなりません。

内山 新吾（弁護士、山口）

いま大切な「あきらめない」ところ。原水爆禁止運動がそのお手本です。

坂元 寛子（薬剤師、愛媛）

世界で唯一の被爆国である日本が、核兵器禁止条約に一番最初に署名しなくてはならないのにいまだにアメリカ・トランプ政権に追従するだけで多額の1兆円以上におよぶ戦闘機を言われるままに購入したり、私物化！！一般国民のことなど何も考えることなく全てを独裁主義の腐った政治を行う安倍政権。一日も早く引きずりおろすべきです。原発ゼロ、沖縄辺野古埋立て反対、9条改憲NO、応援しています。

徳永 俊明（大学教員、埼玉）

武田 隆雄（日本山妙法寺僧侶、東京）

市民運動も選挙運動も一点共同が強化され、前進しているのに、原水禁運動のみが旧態依然の状態が続いています。今年の8・6広島、8・9長崎が昨年よりも一点共同が前進していけるよう共にごんばりましょう！！

高橋 敬幸（弁護士、鳥取）

核兵器禁止への運動を更に強めましょう。

杉井 静子（弁護士、東京）

核のない世界を実現しなければ人類は滅亡の道をたどります。核兵器禁止条約の一日も早い発効を実現しましょう。

早乙女 勝元（作家、東京）

その声を声に、そして力に

瀬川 昌久（文化芸術関係ライター、東京）

熱烈に賛同し強く支持します。

小笠 成美（日本キリスト教団牧師、東京）

核兵器のない世界をめざしてご健闘されることを心より敬服します。世界大会のご成功を心より願っています。

森井 俊行（神戸大学名誉教授、兵庫）

国連で採択された核兵器禁止条約の発効のため、日本政府はイニシアチブを取るべきです。

廣瀬 信夫（富山）

反核・平和の輪を大きくしましょう。

米田 佐代子（NPO平塚らいていの会会長、東京）

平塚らいてうは、湯川秀樹たちとともに、核兵器なき世界のために活動。第1回原水爆禁止世界大会にさきがけて、1955年3月にイギリスへ女性被爆者代表を送り、世界に原水爆被害の実態を訴える活動をすすめた人です。わたしたちは、平塚らいてうが平和のこころざしを受けつぎ、すべての戦争をなくすために力を合わせたいと思っています。

嶋田 正義（元福崎町長、兵庫）

世界大会の成功を願っています。被爆国の安倍首相が核兵器禁止条約に背を向けていることを許すわけにはいきません。日本の政府が条約に賛成するようごんばりたいと思います。

荒井 秀男（無職、元岩波書店勤務、東京）

核兵器を使用しない、つぐらない。平和で公正な世界の実現のために原水爆禁止2019年世界大会を支持します。

倉又 孝夫（東京）

米・口をその気にさせることこそ。日本がその先頭にならなければ1歩も先へ進まない。そういう日本をつくらなければ。いまだに米・口ともに多くの核が残されていることに、地球人は怒りを大にしなければ...

芦澤 宏郎（静岡）

憲法9条を守り、非核平和の日本を実現するため地域で活動をつづけます。

亀井 幸代（俳優、東京）

サー口 節子さんの言葉に力をもらいました。「あきらめるな。光に向かってはって行け！」と粘り強い運動を若い皆さんが引きついで下さるのが嬉しいです。

鈴木 甚郎（秋田）

核兵器禁止条約の発効できる力となる世界大会になるよう祈念します。

牛山 積（早稲田大学名誉教授、埼玉）

粘り強く闘いましょう。

貫名 初子（兵庫）

世界大会の御成功を祈念する。

清家 裕（税理士、大阪）

子や孫に核兵器のない平和な世界を渡したい。この願いが実現する大会に！

中山 高光（被爆者、熊本）

16歳で被爆し（長崎）、今年は90歳になりました。世界大会のニューヨーク開催とのこともあり、更なる前進をめざしてがんばりましょう！

碓田 のぼる（歌人、千葉）

2019年世界大会のご成功を祈ります。

加藤 剛（ジャーナリスト、愛知）

核保有に大義はありません。保有国はせいぜい「必要悪」と言うくらいでしょう。一方、私たちの核禁止運動は前進を続けています。毎年の世界大会は重要な役割を果たしています。被害国日本が核の傘を捨てて、私たちの運動に加われば運動は一段と進む筈。その決断のできる政権選択めざし努力を続けましょう。大会の成功を願っています。

久米 弘子（弁護士、京都）

原爆症認定近畿訴訟弁護団の一員です。ノーモア被爆者訴訟と名付けた集団訴訟もこの1年位で、ほとんど終結の見込みです。近畿訴訟は今年2人の勝訴判決をかちとりました。最後までがんばります。ご支援をお願いします。

山本 純嗣（芦原生協診療所、和歌山）

核兵器禁止条約発効およびNPT成功にむけて今年もみんなで頑張りましょう。

竹内 和夫（岡山大学名誉教授、岡山）

大成功を祈念いたします。

伊藤 栄二（東京）

大会の盛会を祈念します。

佐藤 光堂（書家、新潟）

9条に鎧を着せてはならぬ。

吉田 傑俊（法政大学名誉教授、神奈川）

すべての「核利用」廃棄のために成功を念じます。

堀口 正美（京都）

核兵器のない平和な世界を！

荒川 庸生（長永寺住職、東京）

来年のNPT再検討会議を見すえての大きな成果を念じ上げます。

須田 稔（立命館大学名誉教授、京都）

わたしたちは、唯一の戦時核被爆国の人民です。アメリカのビキニ水爆実験でも死傷者を出し、原水爆禁止運動を始めて世界に核兵器禁止の声を広げてきた。幾度も核戦争の危機がありました。それを防いだのが人民の声。だが、福島の大東電力原発の事故は、わたしたちの同胞ばかりか大気と海洋に放射性物質の放出で汚染を続けている。わたしたちの国の政府は、率先して核兵器禁止条約を締結し、批准すべき国際的責務がある。わたしたち日本人民は、核兵器も原発も人道に反する極悪の暴力であると信じる。この生命の星である地球からそれを廃絶するために闘いつづけることを決意する。

宮田 勇作（東京）

核兵器禁止条約の1日も早い発効を実現させましょう。

■佐藤 哲之（弁護士、北海道）

今こそ核の廃絶を！

刈田 美和子（宮城）

核のない世界の実現を祈ります。

宮本 平一（弁護士、京都）

核兵器禁止・廃絶の運動は、人類の正論であり、悲願です。今年も歩みの一步を進めて行きましょ  
う。連帯の輪を広げて

山本 司（歌人、評論家、北海道）

原水爆禁止世界大会を支持するとともに、大成功を念ずる次第です。被爆国日本を「核の傘」の  
もとに軍事化を進めている悪政を打倒して、核兵器禁止条約を批准する国に変えるのは何よりも大事で  
す。又、核廃絶の国際的運動を益々発展させ、核兵器保有国とその支持勢力の孤立化を実現したいも  
のです。共に努力しましょう。

守川 幸男（弁護士、千葉）

大義は我々にあります。核固執勢力を追い詰めていきましょう。

松野 迅（ヴァイオリニスト、兵庫）

平和ねがいて弦なりやまず！

花井 透（医師、千葉）

被爆者、二世・三世のみなさまの健康管理を、ヒロシマ・ナガサキのある日本の医師として、自ら  
に課しています。核兵器廃絶を政治課題としてかかがる日本の政府をつくりましょう。

石田 良正（日蓮宗大輪院住職、京都）

今大会の成功並びに「核兵器禁止条約」への日本の批准と条約の早期発効を望んで止みません。

久村 進（彫刻家、東京）

日本人には原爆の恐ろしさは良く知られていますが、私のフランス人の友人は戦争だから（原爆が  
落とされたこと）は仕方ないと言ってました。しかし一人で旅行中広島に寄って資料館など見学して  
から、核兵器はひどい、恐ろしいと考えが変わりました。またある時、外国（米国）映画で、ある町  
に原爆が落とされ、シェルターに逃げ込んだ人々がそこを出て見わたすと、地震にあったように家々  
は壊れたものの熱線もなければ黒い雨も、第一放射能についてほとんど考えられていません。世界の  
一般の人々の意識はこんなものかと思いました。核兵器の恐ろしさを天下に知らせることが必要と改  
めて思います。

しらぬひ不知火合同法律事務所（福岡）

核兵器はいりません！

岡田 黎子（広島）

断末魔にすすり泣いた被爆者の生なましい実相は、今乾いた記録資料による物語りとなり、被爆を  
自らの問題として肉体化できなくなっているのが大方の現状である。やむおえぬ人間の性だろうが、  
再び核が使われたらどうなるか。自らが被爆の犠牲になることを切実に感じなければいけない。この  
大虐殺兵器をもって、使う側に立ち、「威嚇の為に手放さない」とか、「力は正義なり...とする核使用  
の正当化」などという人間の無知蒙昧なエゴイズムは、なんとしても早く根絶しなければならぬ。  
御大会の世界へ向けての力強い発信を切に願う。

核兵器禁止条約に背を向ける日本政府を正し、動かしたい。

社会医療法人 平和会吉田病院（奈良）

唯一の被爆国である日本が、核兵器禁止条約反対の立場から賛成の立場に変わるよう、市民の運動  
を共に広げていきましょう。

藤井 慶輝（浄土真宗本願寺派僧侶、富山）

戦後、原爆投下を防いできたのは世界世論。ねばりづよく、もっと世論をもり上げましょう。

十島 英明（劇作・演出家、東京）

大会の成功を祈念します。

山田 玲子（被爆者、東京）

世界大会の開催、継続にヒバクシャとして感謝しています。

上所 洋（医師、山梨）

大会を大成功させ安倍政権に核兵器禁止条約の調印・批准をさせましょう。

田中 大介（税理士、東京）

世界大会の大成功を心からお祈り申し上げます。

全医労広島地区協議会

戦争は無差別に命を奪い、山、川、ふるさとの自然を破壊する。戦争反対！ 大量破壊兵器と核兵器のない世界の実現のためにがんばりましょう。

水田 全一（臨済宗妙心寺派龍澤寺住職、兵庫）

2019年世界大会の成功を心より祈ります。保有大国の責任、完全廃棄を徹底追及しましょう。

松井 芳郎（名古屋大学大学院法学研究科教授、京都）

核兵器禁止条約に抗して戦争政策が強められています。大会の成果を期待します。

池田 久子（長野）

世界大会を成功させ、日本政府に核兵器禁止条約の調印、批准をさせましょう。

小金澤 正昭（宇都宮大学農学部教授、栃木）

歴史的な大会を支持し、賛同します。

立石 康雄（浄土真宗僧侶、大阪）

「核兵器のない世界」の実現を

後藤 文子（書道家、京都）

2019年世界大会が本年も盛会となりますよう心より祈念致します。

山本 英典（被爆者、東京）

核なき世界へ、力をあわせてがんばりましょう。

滝沢 俊治（群馬大学名誉教授、群馬）

核兵器禁止条約を批准する政府の樹立を！ 日本政府は、唯一の原爆投下被爆国の政府として、2017年7月7日に国連会議で採択された「核兵器禁止条約」を一刻も早く批准すべき国際的な責務を負っています。そのために、今年の世界大会が大きな役割を果たすことを願っています。

福田 章典（医師、滋賀）

1秒でも早く地上から核兵器を無くそう！！

田島 一（作家、日本民主主義文学会会長、茨城）

政治の場で市民と野党の共闘が広がっています。核兵器のない平和世界を望む人々との共同と連携を発展させる運動のいっそうの前進を心から願っております。

白石 光征（弁護士、東京）

ご成功を祈念申し上げます。

溝川 悠介（大阪府立大学名誉教授、奈良）

一日も早く「核兵器のない平和で公正な世界」を力を合わせて実現しましょう！

長谷部 望佑（医師、宮城）

「核兵器禁止条約」に署名もできない政府は交代してもらいしかありません。選挙がまだ生きている日本です。多くの人々に訴え、大事な一票をふやせるよう頑張りましょう。大会の成功をお祈りしています。

石川 貞夫（俳人、東京）

1日も早く、核兵器禁止条約の発効を。

中島 晃（弁護士、京都）

核なき世界の実現のために、世界大会の成功を期待しています。

まちだ・さがみ総合法律事務所、弁護士・志田なや子（神奈川）

核兵器が世界からなくなるとを願います。

山田 泰子（書家、大阪）

核の無い世界を1日も早く実現！ 被爆者の命ある間に望みます。今年も代表を送ります。

須藤 博（弁護士、栃木）

核廃絶と地球環境保全に全力を！！

古澤 潤（画家、神奈川）

2019年世界大会を支持します。核兵器は絶対悪です。

志岐 常正（京都大学名誉教授、京都）

原水爆禁止世界大会の開催に強く賛同致します。米中をはじめとする核保有国の勝手な態度を許せません。彼等にこそ、まず核の放棄を要求すべきだと思います。

今野 鶏三（俳優・劇団民藝、神奈川）

人類ばかりかあらゆる生命体にとって、核兵器廃絶を一日も早く実現させなくてはなりません。日本政府は先頭に立ち、世界の核保有国に対し説得する資格と責任があります。2019年世界大会への熱烈な支持と大会の成功を祈ります！

林 紀子（広島）

核兵器をなくすために、日本が、又広島がその先頭に立たなければと考えています。世界中から核兵器がなくなること、第一歩を踏み出したいと思います。核兵器のない世界をめざしてできることのでががんばります。

三宅 成恒（反核京都医師の会代表、京都）

原水爆禁止運動の国内外における多様で力強い運動の広がりを感じます。その中心にあるのが原水爆禁止世界大会だと思います。2019年世界大会の成功を心からお祈りします。

熊澤 喜久雄（東京大学名誉教授、東京）

核兵器禁止条約の調印・批准を日本政府に求めます。

山本 玉樹（弁護士、北海道）

いまこそ人類はヒバクシャに学び、核兵器禁止廃絶の先頭にたて！

富田 道男（大学教員、京都）

実りある大会となるよう祈念します。

柴田 幸子（広島）

今、地球規模で自然災害が起こっています。科学の発達は、人類の幸せの為にこそ使われるべきです。今生まれてくる新しいいのちに幸せな未来を残すことが私たち大人の責任です。

向井 智志（医師、三重）

被爆国日本の政府は直ちに核兵器禁止条約の調印・批准を行うよう要請します。原水爆禁止2019年世界大会の成功を期待します。

住吉 陽子（日本平和委員会顧問、東京）

大会の成功を心より祈念します。

松本 征海、松本和代（医師、三重）

日本国憲法を世界に！ 全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免かれて平和のうちに生存する権利を有することを確認

大友 陽子（大学教員、北海道）

核兵器禁止条約発効に、日本政府も協力するのが被爆国としての当然の義務。

山根 清志（福井大学教授、福井）

核兵器をなくし、平和で公正な世界を実現しましょう！

高見 英夫（山口）

核兵器禁止条約は人類の義務！

松田 澄子（愛媛）

大会の成功を祈ります。

沢田 昭二（名古屋大学名誉教授、愛知）

人類の転機をつくり出す大会を成功させましょう。

山崎 圭一（横浜国立大学教授、神奈川）

大成功を祈ります。

中村 尚子（大学教員、東京）

核兵器禁止条約の実現にむけて草の根からの声をあつめましょう。

肥田 泰（医師、埼玉）

大会の成功をお祈りします。

横田 茂（大学教員、京都）

世界大会の大成功を願っています。日本国憲法の平和原則が実現する世界を求めます。

黒滝 正昭（宮城）

とに角ねばり強く！

山下 二美子（画家、奈良）

核兵器や原発の禁止・廃止を願いながら創作活動を続けています。大会でのテーマのひとつひとつが、私の心に響いてきて勇気づけられます。世界大会の大成功を願っています。

尾林 芳匡（弁護士、東京）

日本にも早く核兵器禁止条約に参加する政府を！

瀧口 秀隆（広島）

成功を祈っています。

横山 英信（岩手大学教授、岩手）

世界大会の成功を心より祈念しています。

たかはし べん（フォークシンガー、埼玉）

地球から核兵器がなくなる日を！

無田 喜雄（医師、熊本）

成功を祈念しております。

朝倉 正幸（弁護士、東京）

参院選挙はあとわずかになっています。野党共闘はかなり奮闘しているようですが、3分の2の線を切れるかどうか。現政権を国民の側にうばわないことには、はじまりません。原水爆禁止の運動も、これなくしては大きく進まないでしょう。ともに頑張りましょう。

倉又 孝夫（東京）

米・口をその気にさせることこそ日本が先頭にならなければ